

V60x 405 データキャリア一括書込み _V60x405_FillData

機能概要	データキャリアにフィルデータを書き込みます。																																
シンボル		<table border="1"> <tr><td>(BOOL)</td><td>_V60x405_FillData</td><td>(BOOL)</td></tr> <tr><td>EN</td><td></td><td>ENO</td></tr> <tr><td>(INT)</td><td>UnitNo</td><td>(BOOL)</td></tr> <tr><td>(INT)</td><td>HeadNo</td><td>BUSY</td></tr> <tr><td>(WORD)</td><td>CarrierAddress</td><td>(BOOL)</td></tr> <tr><td>(INT)</td><td>WriteBytes</td><td>OK</td></tr> <tr><td>(WORD)</td><td>Data</td><td>(BOOL)</td></tr> <tr><td>(INT)</td><td>Communications</td><td>NG</td></tr> <tr><td>(INT)</td><td>DataSize</td><td>(WORD)</td></tr> <tr><td>(BOOL)</td><td>Cancel</td><td>ErrorCode</td></tr> </table>	(BOOL)	_V60x405_FillData	(BOOL)	EN		ENO	(INT)	UnitNo	(BOOL)	(INT)	HeadNo	BUSY	(WORD)	CarrierAddress	(BOOL)	(INT)	WriteBytes	OK	(WORD)	Data	(BOOL)	(INT)	Communications	NG	(INT)	DataSize	(WORD)	(BOOL)	Cancel	ErrorCode	<p>処理中フラグ</p> <p>正常終了</p> <p>異常終了 エラーコード (省略可)</p>
(BOOL)	_V60x405_FillData	(BOOL)																															
EN		ENO																															
(INT)	UnitNo	(BOOL)																															
(INT)	HeadNo	BUSY																															
(WORD)	CarrierAddress	(BOOL)																															
(INT)	WriteBytes	OK																															
(WORD)	Data	(BOOL)																															
(INT)	Communications	NG																															
(INT)	DataSize	(WORD)																															
(BOOL)	Cancel	ErrorCode																															
ファイル名	Lib¥FBL¥omronlib¥RFID¥V600¥_V60x405_FillData10.cxf																																
対象形式	ID センサユニット	形CS1W-V600C11/V600C12, CJ1W-V600C11/V600C12																															
	CPU ユニット	CS1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1M-CPU** ユニットバージョン 3.0 以上 CP1H																															
	CX-Programmer	バージョン 5.0 以上																															
使用言語	ラダー言語																																
使用条件	<p>■CX-Programmer の設定</p> <p>ID センサユニット関連 FB は、ファンクションブロックのアドレス割付にて保持以外のエリアが H512 以降(初期値設定)では動作しません。必ず CX-Programmer にて本値を、使用していないエリア(例えば DM や EM)に変更してください。本値はメニューバーから[PC] - [ファンクションブロックメモリ] - [ファンクションブロックアドレス割付]から変更ができます。</p> <div data-bbox="379 1189 1102 1406"> <p>使用していないエリアを指定してください。 必要なサイズは、使用する FB の種類や数によって異なります。 既にラダープログラム上で使用しているエリアを指定した場合や容量が足りない場合は、CX-Programmer がコンパイル時にエラーを表示します。</p> </div> <div data-bbox="379 1458 1102 1675"> <p>例えば、 D32020 から D32767 の 748CH 分を使用する場合は 左記のように指定します。</p> </div> <p>■ID センサユニットの状態</p> <p>ID センサユニットがビジー中の場合は NG フラグを ON し、本 FB の機能を実行しません。</p>																																
機能説明	<p>「ユニット番号」・「ヘッド番号」で指定したデータキャリアに対して指定エリアにデータを一括で書込みます。</p> <p>1回の実行で書込み可能なデータ量は最大2048 バイト(1024CH) 分もしくは、指定された先頭アドレス以降の全てのエリアです。</p> <p>IDセンサユニットの注意点として以下があります。詳細は「関連マニュアル」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理バイト数 0 の場合には、指定された先頭アドレスからデータキャリアの最終アドレスまでのユーザエリアにデータの書き込みます。 ・ライトプロテクトの設定/解除に関係なく、データキャリアのユーザエリアをライトします。 ・ライト時ベリファイなし設定の場合には、ベリファイ処理を行いません。 																																
FB 定義の種類	<p>複数サイクル実行型</p> <p>本 FB は起動後、複数サイクルにまたがって処理を行います。 内部で状態を保持するため、同じインスタンスを複数箇所ですべて同時に使用することはできません。</p>																																

<p>FB 使用上の注意 注意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は数サイクルにまたがって処理を行います。出力変数 BUSY によって、処理が実行中か否かを確認できます。 処理を終えると、OK または NG が 1 サイクルだけ ON します。これらのフラグを参照して、FB の処理完了を検知してください。 <p>■タイムチャート</p> <p>↑ FB の実行が完了しています。</p>																																												
<p>EN の入力条件</p>	<p>上図のように「起動トリガ」の立ち上がりと FB の出力である BUSY の論理和を EN に接続させます。</p>																																												
<p>制限事項 入力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> EN への入力には必ず立ち上がり微分(↑)を使用してください。 入力変数の値が範囲外の場合、ENO を OFF し、FB の内容は実行しません。 1 ヘッドタイプ(CS1W-V600C11, CJ1W-V600C11)はヘッド番号を必ず&1 としてください。 処理アドレスおよび処理バイト数はデータキャリアのメモリ容量を確認して指定してください。処理アドレスおよび処理バイト数が交信するデータキャリアのメモリ容量と合わない場合には、アドレスエラーを出力します。 																																												
<p>出力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本処理は、複数サイクルに渡って実行する必要があるため、処理完了まで実行されるように、出力変数 BUSY を、入力変数 EN への入力条件の OR 回路に、必ず挿入してください(「シンボル」の項参照)。 出力変数 BUSY を FB 外で ON/OFF しないでください。 																																												
<p>使用例</p>	<p>接点 A を ON すると、ユニット番号 3 の ID センサユニットのヘッド 1 に繋がったデータキャリアのアドレス 10(Hex)から 20 バイト分を#AA55 で埋めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">_V60x405_FillData</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%;">(BOOL) EN</td> <td style="width: 30%;">(BOOL) ENO</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接点 A</td> <td>(INT) UnitNo</td> <td>(BOOL) BUSY</td> <td>処理中フラグ</td> </tr> <tr> <td>接点 B</td> <td>(INT) HeadNo</td> <td>(BOOL) OK</td> <td>正常終了</td> </tr> <tr> <td>ユニット番号 &3</td> <td>(WORD) CarrierAddress</td> <td>(BOOL) NG</td> <td>異常終了</td> </tr> <tr> <td>ヘッド番号 &1</td> <td>(INT) WriteBytes</td> <td>(WORD) ErrorCode</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td>データキャリア書込アドレス #10</td> <td>(WORD) Data</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>データキャリア書込バイト数 &20</td> <td>(INT) Communications</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルデータ #AA55</td> <td>(INT) DataSize</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交信指定 &0</td> <td>(BOOL) Cancel</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルデータのサイズ &1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャンセル 接点 X</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>		(BOOL) EN	(BOOL) ENO		接点 A	(INT) UnitNo	(BOOL) BUSY	処理中フラグ	接点 B	(INT) HeadNo	(BOOL) OK	正常終了	ユニット番号 &3	(WORD) CarrierAddress	(BOOL) NG	異常終了	ヘッド番号 &1	(INT) WriteBytes	(WORD) ErrorCode	エラーコード	データキャリア書込アドレス #10	(WORD) Data			データキャリア書込バイト数 &20	(INT) Communications			フィルデータ #AA55	(INT) DataSize			交信指定 &0	(BOOL) Cancel			フィルデータのサイズ &1				キャンセル 接点 X			
	(BOOL) EN	(BOOL) ENO																																											
接点 A	(INT) UnitNo	(BOOL) BUSY	処理中フラグ																																										
接点 B	(INT) HeadNo	(BOOL) OK	正常終了																																										
ユニット番号 &3	(WORD) CarrierAddress	(BOOL) NG	異常終了																																										
ヘッド番号 &1	(INT) WriteBytes	(WORD) ErrorCode	エラーコード																																										
データキャリア書込アドレス #10	(WORD) Data																																												
データキャリア書込バイト数 &20	(INT) Communications																																												
フィルデータ #AA55	(INT) DataSize																																												
交信指定 &0	(BOOL) Cancel																																												
フィルデータのサイズ &1																																													
キャンセル 接点 X																																													
<p>関連マニュアル</p>	<p>「ID センサユニット ユーザーズマニュアル」(SCLB-707) 4-3.入出力データの割付「異常コード一覧」 6-2.交信コマンド「(7)データフィル」</p>																																												

■変数テーブル

【INPUT】(入力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	初期値	有効範囲	説明
EN	EN	BOOL			1(ON): FB を起動する 0(OFF): FB を起動しない
ユニット番号	UnitNo	INT	&0	&0~&95	
ヘッド番号	HeadNo	INT	&1	&1~&2	&1: ヘッド 1 &2: ヘッド 2(2 ヘッドタイプのみ)
データキャリア 書込アドレス	CarrierAddress	WORD	#0		データキャリアのアドレスを 16 進数で指定します。
データキャリア 書込バイト数	WriteBytes	INT	&0	&0~&2048	バイト数が 0 の場合、指定した先頭アドレスからキャリアの最終アドレスまでデータを書き込みます。
フィルデータ	Data	WORD	#0		
交信指定	Communications	INT	&0	&0~&2	&0: トリガ &1: オート &2: リピートオート
フィルデータのサイズ	DataSize	INT	&0	&0~&1	フィルデータのサイズを指定します。 &0: バイト &1: ワード
キャンセル	Cancel	BOOL	0(OFF)		0→1: 実行を打ち切ります。

【OUTPUT】(出力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	有効範囲	説明
ENO (省略可)	ENO	BOOL		1(ON): FB が正常に動作した 0(OFF): FB は起動していない/FB が異常終了した
処理中フラグ	BUSY	BOOL		処理完了後、自動的に OFF します
正常終了	OK	BOOL		正常終了時 1 サイクルだけ ON します
異常終了	NG	BOOL		異常終了時 1 サイクルだけ ON します
エラーコード (省略可)	ErrorCode	WORD		ID センサの結果情報を出力します。 詳細は「関連マニュアル」に記載されたマニュアルを参照してください。 #0070: データキャリア通信異常 #0071: ベリファイ異常 #0072: データキャリア不在異常 #0076: 状態フラグ #007A: データキャリアアドレス異常 #007B: 電池寿命ワーニング #007C: ヘッド異常 #007D: プロテクト異常 #FFFF: 入力パラメータの異常

■バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00	2004.6.	新規作成